



地域資源を活かした

活動の展開

～鎧かぶとにハマっています～

要約

上郡町赤松地区は、南北朝時代の武将、赤松円心ゆかりの郷。国指定史跡・白旗城は、赤松円心により築城された山城で、足利尊氏を追う新田義貞率いる6万の軍勢をわずか2千の兵で50日あまりふさぎ止めた“難攻不落の名城”といわれています。平成28年度から、国指定20年を機に、この白旗城跡を町内外に発信するため県、町とともに、「落ちない城・白旗城」PRプロジェクトを推進しています。また、当地には明治時代の高級官僚、大鳥圭介の生誕地があり、これらの歴史資源を活かして、よろいかぶと作りやイベントを行い地域住民の元気づくりに取り組んでいます。

赤松地区むらづくり推進委員会

地域の概要

団体名	赤松地区むらづくり推進委員会（会長 古正好晴）
地域名	赤松地区連合自治会
地域の概況 H29.3月末現在	集落数：15集落 人口：1,594人 世帯数：680世帯 高齢化率：38.1%

上郡町赤松地区は、町の北部に位置し、清流千種川沿いに拓けた地域です。

地域では、平成20年度から「赤松地区むらづくり推進委員会」を各種団体で組織し、「県民交流広場事業」や「地域再生大作戦の補助事業」を活用し、地域の歴史資源などを活かした施設整備や事業、イベントなどを行い、地域の活性化を図っています。

当地内は、歴史遺産として、明治時代の日本の近代化に多くの功績を残した「大鳥圭介」の生誕地や旭日鋳山跡、稀少植物コヤスノキの群生する大避神社、千種川沿線には中世播磨の武将「赤松円心」の座像を納める宝林寺・円心館や法雲寺、国指定史跡「白旗城跡」など赤松氏ゆかりの史跡が点在する地域です。

この豊かな歴史・観光資源に恵まれた地域も高齢化率38.1%と少子高齢化の波にもまれ、限界集落も2自治会（人口2～5人）となっています。

人口減少、少子高齢化に歯止めをかけることは自分たちの力ではできません。しかし、高齢者が中心でも、今、地域に住んでいる者が元気になるように、自分たちが主体と成り、できることに取り組もうとの思いで、手作り鎧かぶとの制作に取り組んできました。

県民交流広場・地域再生大作戦の補助事業の実績

年度	事業名	事業の取り組み
H20～24	県民交流広場事業	いきいき交流ふるさと館の整備（大鳥圭介生誕地）ふれあい喫茶・圭介塾の実施 圭介まつり・白旗城まつりの拡充 地域の食材を使った料理教室
H24～25	小規模集落元気作戦（大枝新）	竹藪手入れによる景観整備 竹細工の加工教室の実施
H24～25	むらの将来検討支援事業（岩木区）	地区交流会とヒメホテル観察会 オハツキ銀杏広場の整備 大鳥圭介生誕地PRによる集客
H24	ふるさとの風景づくり整備事業	人形焼機（円心くん・圭介くん）整備
H26～28	『がんばる地域』交流・自立応援事業（赤松地区むらづくり推進委員会）	圭介まつり・白旗城まつりの拡充 手づくり鎧かぶと教室の実施 「圭介くん」着ぐるみの作成
H28～29	「落ちない城・白旗城」PRプロジェクト	案内看板、横断幕、のぼりの整備 RRグッズ作成（絵馬、鉛筆、記念きっぷ、ポスター、チラシ等）

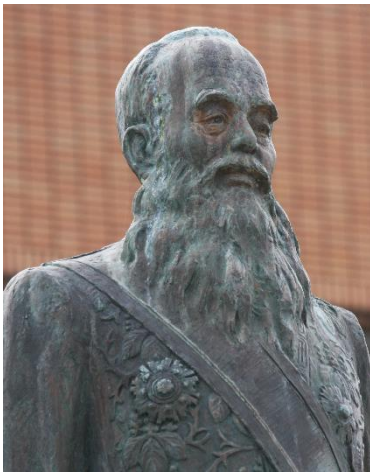
地域活性化への取組状況

- 白旗城まつりを平成4年度から毎年11月23日に開催。
(白旗城跡の国指定史跡答申を機に開始)
現在は100体を超える武者行列を実施。



- 大鳥圭介没後100年(平成23年)にむけ「県民交流広場事業」を活用し、生誕地にいきいき交流ふるさと館を整備。毎月第1・第3日曜日にはふれあい喫茶を開き、塾長を配して圭介塾を開催。
圭介まつりを毎年5月4日に開催。
平成27年2月22日には「知事とのさわやかトーク西播磨」を実施。

- 大鳥圭介没後100年を記念し、伝記アニメ「けいすけじゃ」の制作(アフレコ)に参加・協力。



- ヒメボタルの観察会、竹細工教室とタケノコの育成、地元産品を使った料理教室等、町立赤松公民館を拠点とした事業を展開。
- 特産品開発として、町キャラクター「円心くん」と大鳥圭介キャラクター「圭介くん」の人形焼に取り組んでいる。



- 鎧かぶとの展示、武者行列や着付け体験、特産品販売などで広域交流を推進。
～島根県安来市、西播磨スプリングフェア「出る杭大会」、夢前置塩城まつり、赤穂義士祭、地域再生大作戦元気交流会（神戸）、ひょうご博覧会（大阪）、神戸まつり、備前市など。
- 国指定史跡「白旗城跡」を観光資源として誘客を図る「落ちない城・白旗城」PRプロジェクトを、県、町と連携して計画・実施しています。



手作り鎧かぶと事業

地域に密着した元気の源となる交流と情報発信の拠点をとの思いから、島根県安来市より講師を招き手づくり鎧かぶとの制作工程を修得し、現在は白旗城まつり武者行列での披露に向けて毎年鎧カブトづくり教室を実施しています。

厚紙や古布で作る鎧かぶとなので、オーダーメイドでサイズを変えることができ、また、軽い素材のため、イベント等で親子用に着付け体験と記念撮影コーナーを設けると参加者に大変好評です。また、町内外のお祭りにも参加し「赤松円心」と「落ちない城・白旗城」のPRに

努める活動を展開しています。

本来、鎧かぶとは資料館や、代々のお宝美術工芸品としての高級な飾り物であり、手にいれることが難しく、ましてや着用については無縁な存在です。

赤松の手づくり鎧かぶとにあっては、子や孫のために時間と手間をかけて作ることで、より身近で愛着のある「世界で二つとないマイ甲冑」として広がっています。

